

事例1：まちづくり活性化バスキララちゃん (茨城県土浦市 NPO法人まちづくり活性化土浦)

【運行目的】

キララちゃんは、中心市街地の活性化とともに、バス利用不便地域の緩和、公共交通利用の促進を目的に運行しています
(ホームページより)



【ポイント】

- ▼商工会議所が中心となって、まちづくり・コミュニティバス運行を目的とするNPOを設立
- ▼地域通貨の発行(乗車券として使用可)や協賛広告制度により、商店街と連携
- ▼住民によるボランティア(車内での案内)やサポーター制度の導入
- ▼市・バス会社・NPOの協定により運行。赤字は協賛広告・サポーター会費のほか、市・商工会議所が補填

事例2：MACHI-BUS (香川県高松市 高松丸亀町商店街振興会)

【運行目的】

お客様用の駐車場も大切ですし、駐輪場も大切ですが、JRを利用して高松に来られるお客様を商店街に快適にお迎えするためにはお客様の足としてのまちバスが必要であると考えました(趣意書より)



【ポイント】

- ▼商店街・百貨店が中心となって、中心市街地活性化のためのコミュニティバスを運行(郊外店との競争力強化)
- ▼地元企業(銀行・電力会社等)による協賛広告収入を確保
- ▼運賃(100円)のほか、商店街発行の駐車券でも乗車可能
- ▼行政補助は一切無し(介入を嫌って断った経緯あり)